【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2001-184834(P2001-184834A)
【公開日】平成13年7月6日(2001.7.6)
【出願番号】特願平11-362287
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　23/087　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　23/087　５２１Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月18日(2006.12.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　テープを巻回した一対のリールを収納する筐体と、
前記一対のリール間に架橋された前記テープを覆う蓋と、
前記筐体に対し前記蓋を回動自在に軸支する一対の支点ピンと、
前記筐体に備える軸受部に回動自在に支持される支持ピン、及び、前記蓋の前記支点ピン回りの回動を前記支点ピン回りの回動でロックするロック爪部を有する係止部を具備する一対の蓋ロック部材とを備え、
前記一対の蓋ロック部材の一方に、前記支持ピンの軸芯に関して、前記係止部の反対位置に配置したバランスウェイト部を備えることを特徴とするテープカセット。
【請求項２】　前記バランスウェイト部を具備する蓋ロック部材の前記係止部に、前記支持ピンの軸芯方向に深さを有する穴部を設けたことを特徴とする請求項１記載のテープカセット。
【請求項３】　前記バランスウェイト部に、前記バランスウェイト部を具備する蓋ロック部材の前記係止部を形成する材料の比重より比重の大きい材料含むことを特徴とする請求項１に記載のテープカセット。
【請求項４】　前記バランスウェイト部を具備する蓋ロック部材を、当該バランスウェイト部と、前記係止部とを別の材料で構成し、前記バランスウェイト部に供する材料の比重が前記係止部に供する材料の比重よりも大きいことを特徴とする請求項１に記載のテープカセット。
【請求項５】　前記バランスウェイト部を具備する蓋ロック部材の前記係止部に前記支持ピンの軸芯方向に深さを有する穴部を設け、且つ前記バランスウェイト部に前記係止部を形成する材料の比重より比重の大きい材料を含むことを特徴とする請求項１記載のテープカセット。
【請求項６】　前記バランスウェイト部を具備する蓋ロック部材の前記係止部に前記支持ピンの軸芯方向に深さを有する穴部を設け、且つ前記バランスウェイト部と前記係止部とを別の材料で構成し、前記バランスウェイト部に供する材料の比重が前記係止部に供する材料の比重よりも大きいことを特徴とする請求項１記載のテープカセット。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００１４】
【課題を解決するための手段】
上記課題を解決する本発明に係るテープカセットは、テープを巻回した一対のリールを収納する筐体と、前記一対のリール間に架橋された前記テープを覆う蓋と、前記筐体に対し前記蓋を回動自在に軸支する一対の支点ピンと、前記筐体に備える軸受部に回動自在に支持される支持ピン、及び、前記蓋の前記支点ピン回りの回動を前記支点ピン回りの回動でロックするロック爪部を有する係止部を具備する一対の蓋ロック部材とを備え、前記一対の蓋ロック部材の一方に、前記支持ピンの軸芯に関して、前記係止部の反対位置に配置したバランスウェイト部を備えた構成である。
上記テープカセットにおけるバランスウェイト部を具備する蓋ロック部材の前記係止部に、前記支持ピンの軸芯方向に深さを有する穴部を設けた構成、
または上記テープカセットにおけるバランスウェイト部に、前記バランスウェイト部を具備する蓋ロック部材の前記係止部を形成する材料の比重より比重の大きい材料含む構成、
または上記テープカセットにおけるバランスウェイト部を具備する蓋ロック部材を、当該バランスウェイト部と、前記係止部とを別の材料で構成し、前記バランスウェイト部に供する材料の比重が前記係止部に供する材料の比重よりも大きい構成、
または上記テープカセットにおけるバランスウェイト部を具備する蓋ロック部材の前記係止部に前記支持ピンの軸芯方向に深さを有する穴部を設け、且つ前記バランスウェイト部に前記係止部を形成する材料の比重より比重の大きい材料を含む構成、
または上記テープカセットにおけるバランスウェイト部を具備する蓋ロック部材の前記係止部に前記支持ピンの軸芯方向に深さを有する穴部を設け、且つ前記バランスウェイト部と前記係止部とを別の材料で構成し、前記バランスウェイト部に供する材料の比重が前記係止部に供する材料の比重よりも大きい構成が好ましい。